

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 必ず当社指定のライトコントローラ(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	
製品・お取り扱いなどのご相談は	修理・アフターサービスのお問い合わせは
お客様相談室	サービスセンター
ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-015123
受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	FAX  0570-025123
	受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検	★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。
	➡	ご使用中 止
		故障や事故防止のため、電源 スイッチを切り、必ず販売店 に点検、修理を依頼してくだ さい。

	●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
---	---

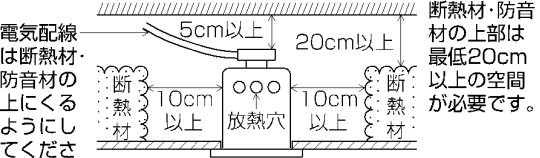
保証とアフターサービスについて	
保証について	修理を依頼されるとき
・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。 但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 ・グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。 ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型 番 XP48131L・XP48132L・XP48133L・XP48134L・XP48135L
XP48136L・XP48137L・XP48138L

お客様へ	器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。 一般の方の電気工事は法律で禁止されています。	保存用
工事店様へ	施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。 この説明書は必ずお客様へお渡しください。	

【安全上のご注意】

⚠ 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	ダウンライトなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。→放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。→器具の落下によるけがの原因になります。		 電気配線は断熱材・防音材の上にくるようにしてください。 断熱材・防音材の上部は最低20cm以上の空間が必要です。 器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。住宅での断熱施工天井では使用できません。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。		電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。	

⚠ 注 意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。	！ 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
	エアコンの吹き出し口の前など常時風の当たる場所や強い風の当たる場所には取付けないでください。→落下によるけがの原因になります。		

■定格

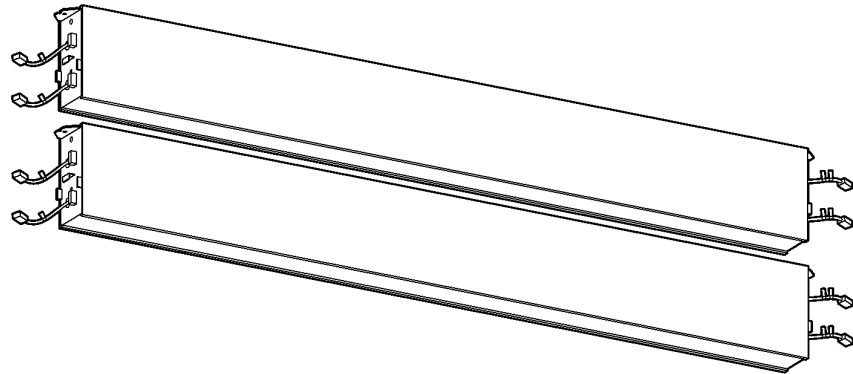
型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XP48131L・XP48132L XP48131L XP48133L・XP48134L	AC100V	0.66A	65W	LED
XP48135L・XP48136L XP48135L・XP48136L	AC100V			LED
※この図は一部抽象化した共通部品図です。 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。		0.33A	32.4W	

■各部の名称

■各部の名称

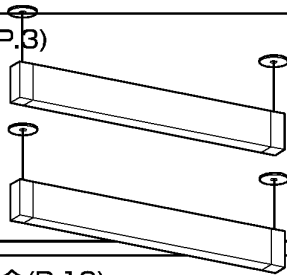
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

本体



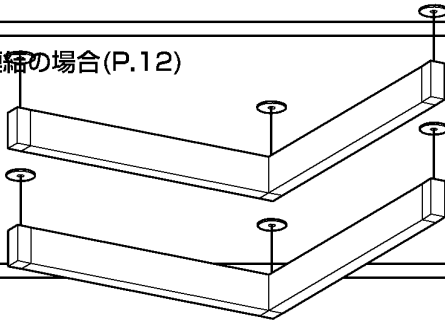
単体の場合 (P.3)

単体の場合 (P.3)



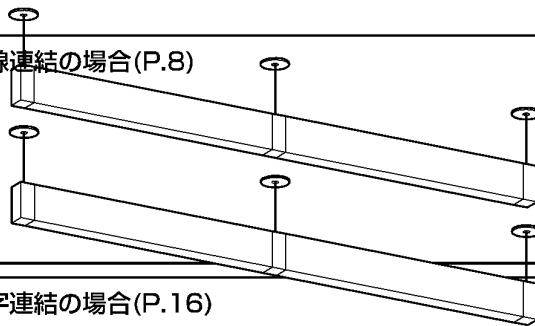
L字連結の場合 (P.12)

L字連結の場合 (P.12)



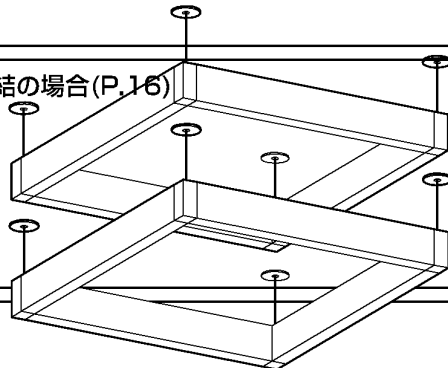
直線連結の場合 (P.8)

直線連結の場合 (P.8)



口字連結の場合 (P.16)

口字連結の場合 (P.16)

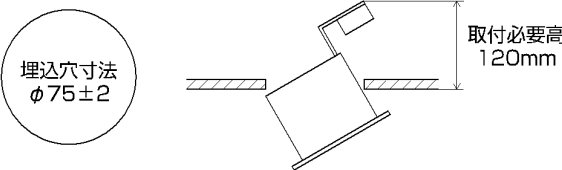


■施工前の確認(単体の場合)

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

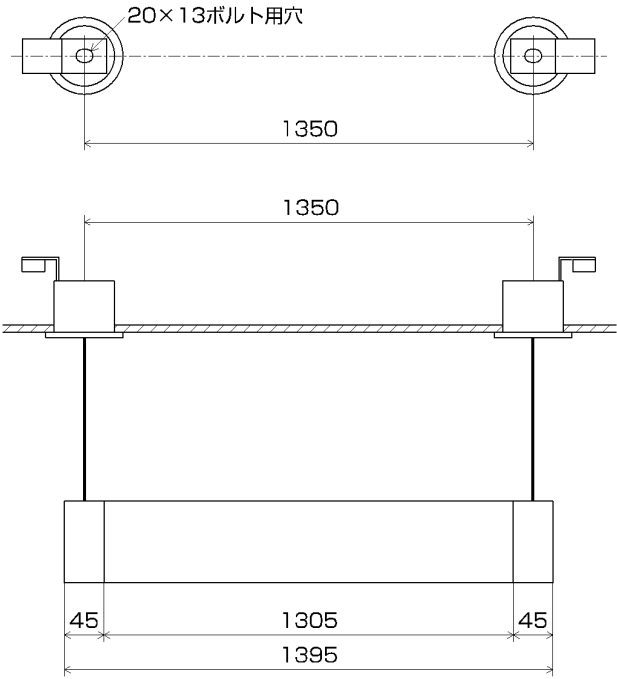
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 天井に埋込穴(2ヶ所)をあける



3 取付ピッチ

下図は器具を取付面から見た図です。

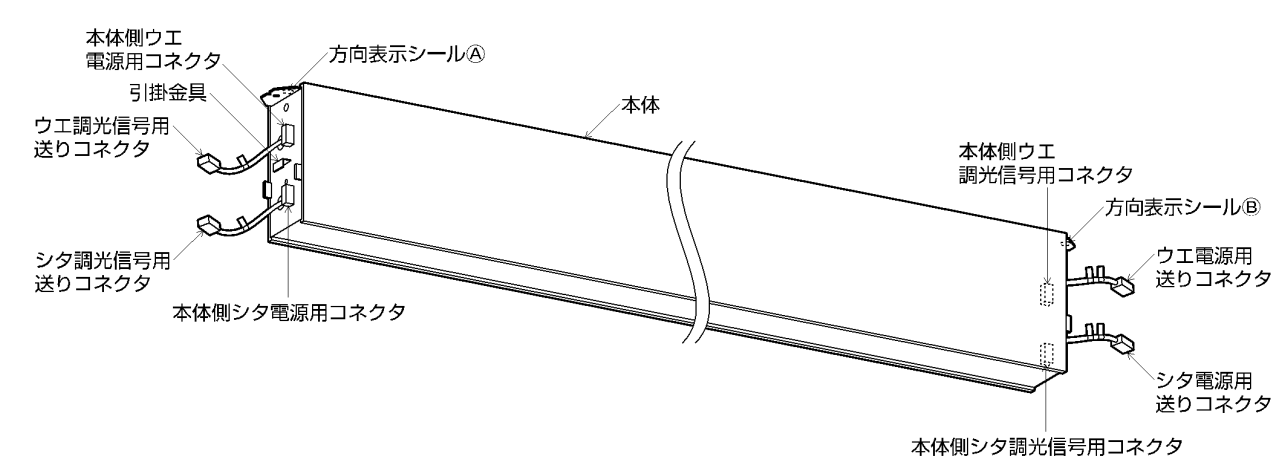


4 器具の取付けは2人で作業する

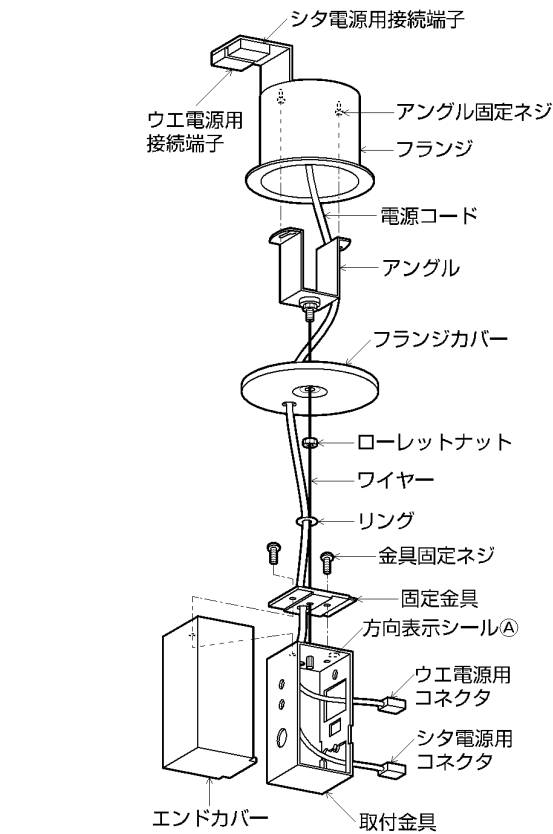
器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順(単体の場合) △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

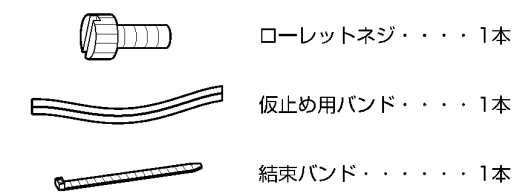
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



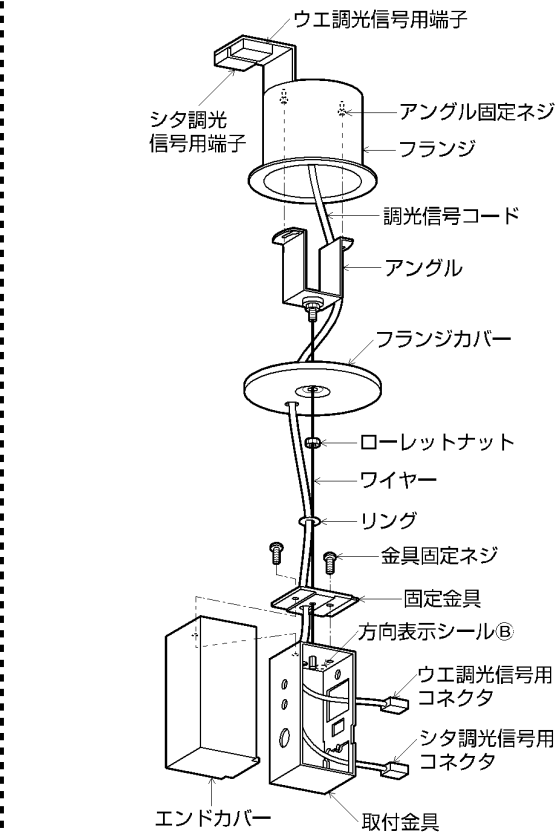
〈電源用吊具(別売)〉
XE48139E



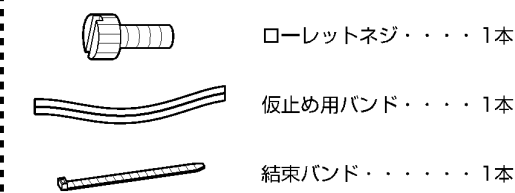
〈付属部品〉



〈調光信号用吊具(別売)〉
XE48141E



〈付属部品〉

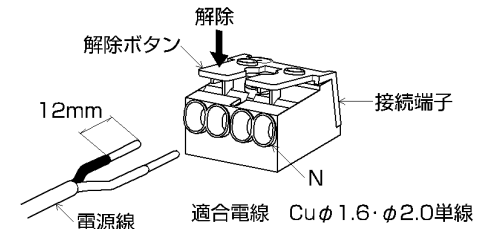


1 電源線を接続する

右図のように電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量6A)
はずす時は解除ボタンを押しながら電源線を抜く。

※ウエ電源用接続端子とシタ電源用接続端子は、個別に電源線を接続してください。

⚠ 警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

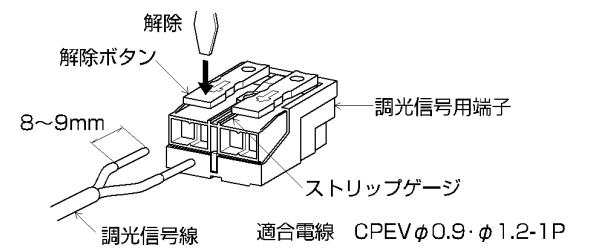


2 調光信号線を接続する

ストリップゲージに合わせて調光信号線の被覆をむき、調光信号用端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押し、調光信号線を抜く。

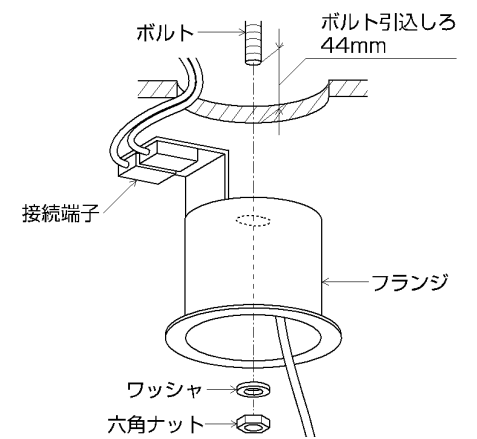
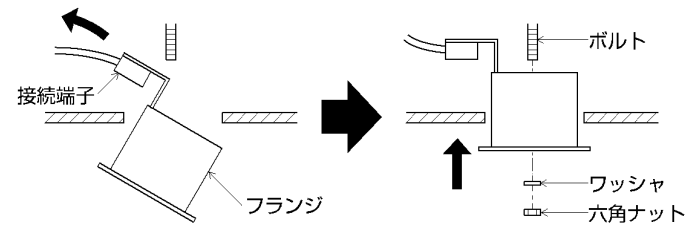
※ウエ調光信号用端子とシタ調光信号用端子は、個別に調光信号線を接続してください。

⚠ 警告 調光信号線の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



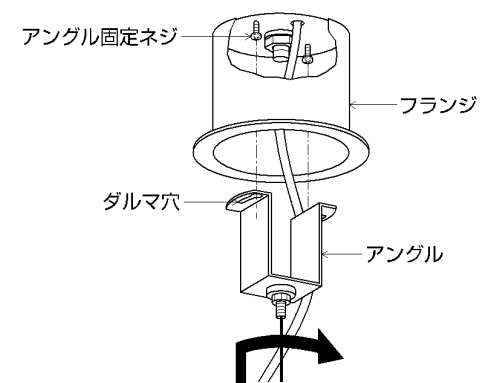
3 フランジを取付ける

フランジを接続端子側より傾けた状態で天井穴に挿入し、水平に押し上げ、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。



4 アンクルを取付ける

アンクルのダルマ穴をアンクル固定ネジに合わせ、押し上げて右に回し、アンクル固定ネジを締め付ける。



5 ワイヤーの長さを調節する

ワイヤーストッパーでワイヤーの長さを調節する。

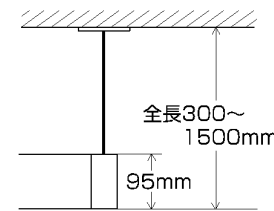
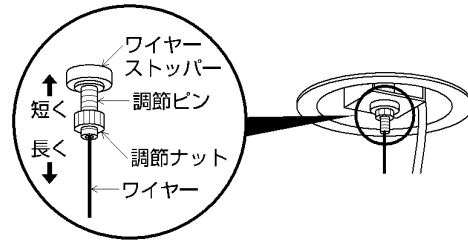
<ワイヤーを短くする場合>

- ①調節ナットをゆるめる。
- ②ワイヤーをワイヤーストッパーに押し込む。
- ③調節後、調節ナットを締め付ける。

<ワイヤーを長くする場合>

- ①調節ナットをゆるめる。
- ②調節ピンを押し込みながらワイヤーをワイヤーストッパーから引き出す。
- ③調節後、調節ナットを締め付ける。

※必ずワイヤーの長さは左右同じ長さにして本体が水平になるように調整してください。破損・落下によるけがの原因になります。



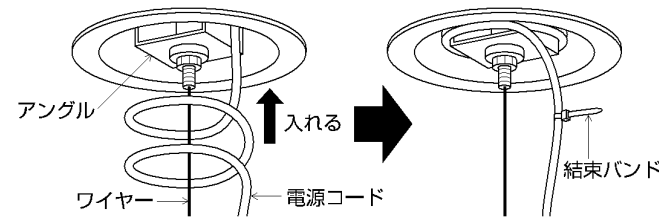
6 電源コードの長さを調節する

ワイヤーを短くして余った電源コードは、アングルに巻き付けてフランジ内に入れ、付属の結束バンドを電源コードに取付ける。

※電源コードの長さはワイヤーより短くしないください。(電源コードで本体を吊らないください。)

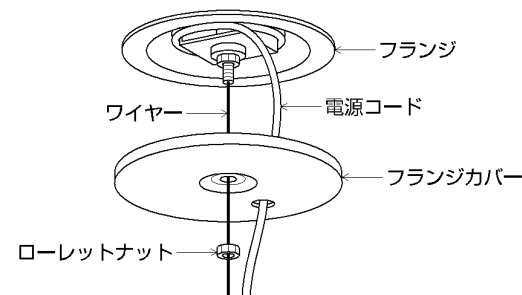
破損・落下によるけがの原因になります。

※調光信号コードも同じように長さを調節する。



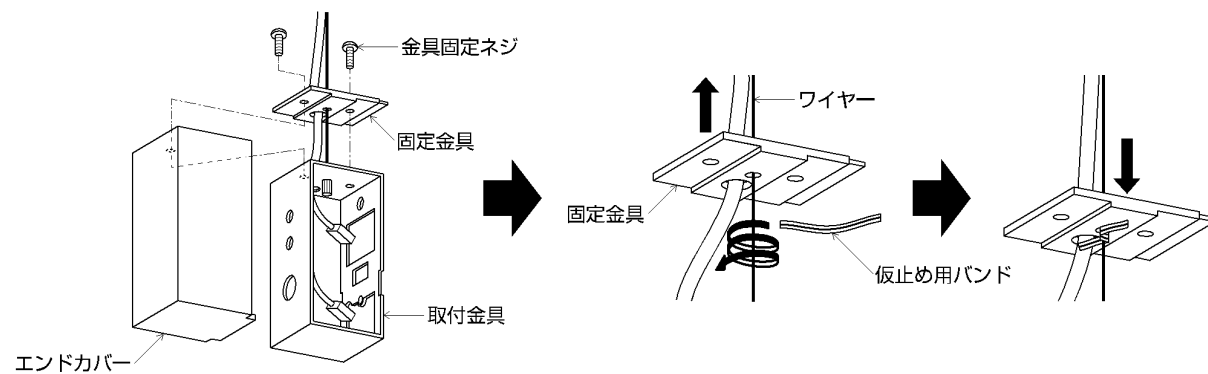
7 フランジカバーを取付ける

フランジカバーをフランジに合わせ、ローレットナットで取付ける。



8 固定金具を仮吊りする

- ①金具固定ネジをはずし、固定金具とエンドカバーを取付金具から取外す。
- ②固定金具を持ち上げ、ワイヤーに仮止め用バンドを巻き付け、固定金具を仮吊りにする。

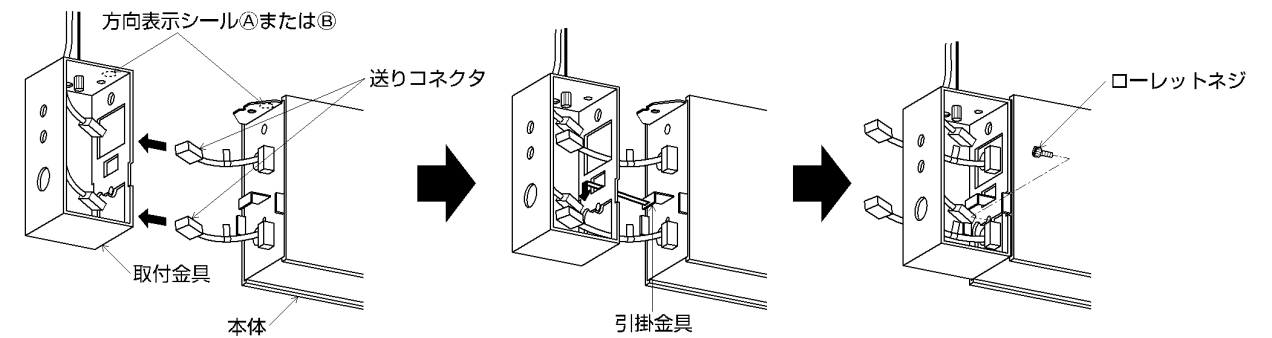


9 本体を取付ける

本体の送りコネクタを取付金具に通してから、本体の引掛金具を取付金具に引っ掛け、吊具に付属のローレットネジで取付ける。

※本体には方向性があります。本体と取付金具の方向表示シールを合わせて取付けてください。

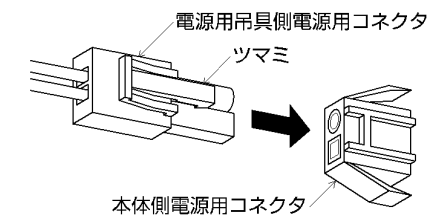
※方向表示シール④は電源側、方向表示シール⑧は調光信号側です。



10 電源用コネクタを接続する

電源用吊具のウエ電源用コネクタを本体側ウエ電源用コネクタに、電源用吊具のシタ電源用コネクタを本体側シタ電源用コネクタに確実に差し込む。はずす時はツマミを押しながら抜く。

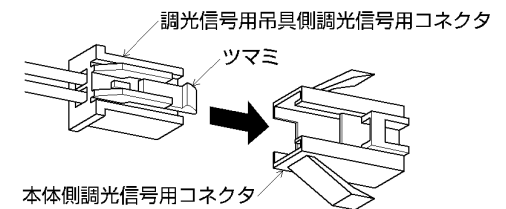
⚠ 警告 コネクタの接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



11 調光信号用コネクタを接続する

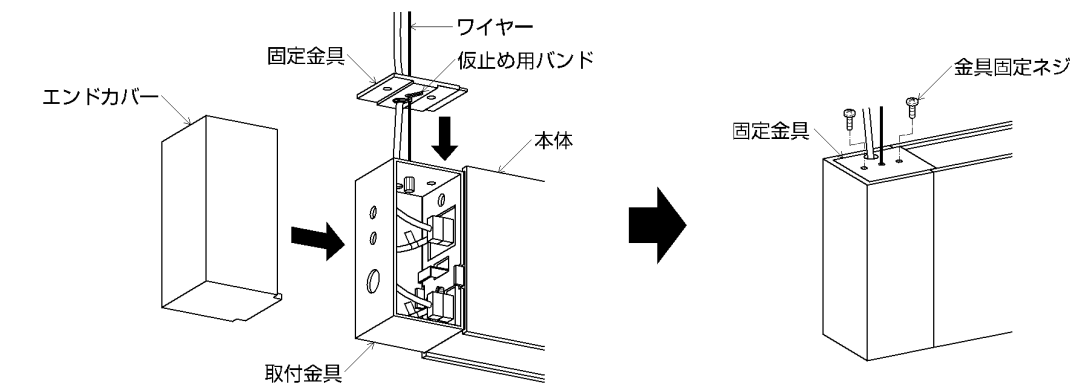
調光信号用吊具のウエ調光信号用コネクタを本体側ウエ調光信号用コネクタに、調光信号用吊具のシタ調光信号用コネクタを本体側シタ調光信号用コネクタに確実に差し込む。はずす時はツマミを押しながら抜く。

⚠ 警告 コネクタの接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



12 エンドカバーを取付ける

エンドカバーを取付金具に合わせ、ワイヤーに取付けた仮止め用バンドをはずして固定金具を下ろし、金具固定ネジで取付ける。

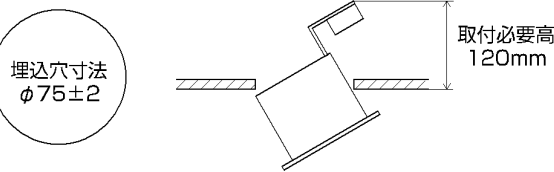


13 点灯の確認を行なう

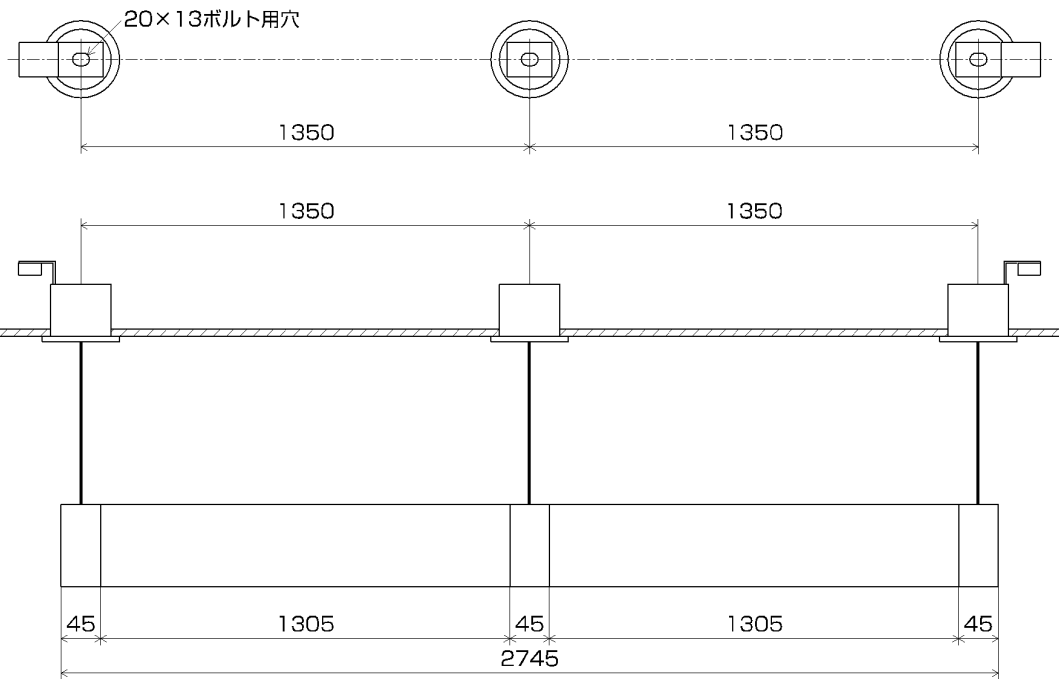
■施工前の確認(直線連結の場合)

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 天井に埋込穴をあける
※連結台数+1ヶの埋込穴が必要です。



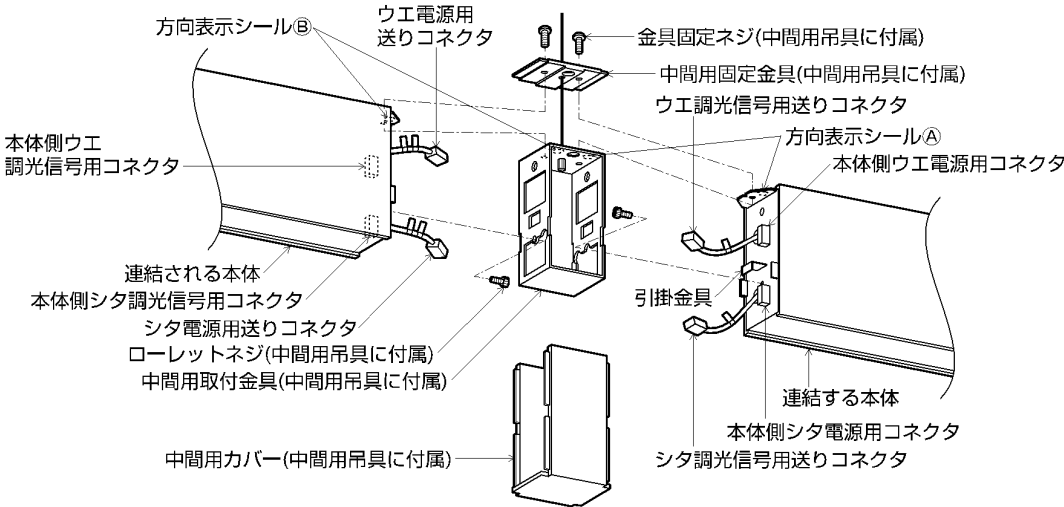
3 取付ピッチ
下図は器具を取付面から見た図です。
＜直線連結2台の場合＞



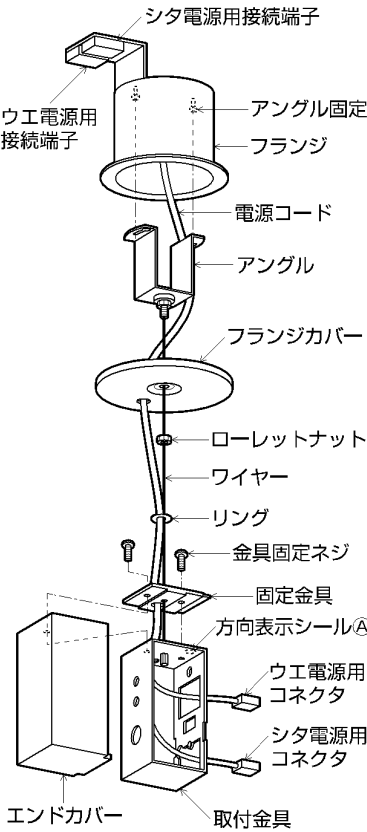
4 器具の取付けは2人で作業する
器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順(直線連結の場合) △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

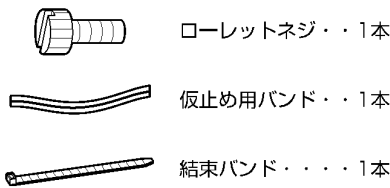
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



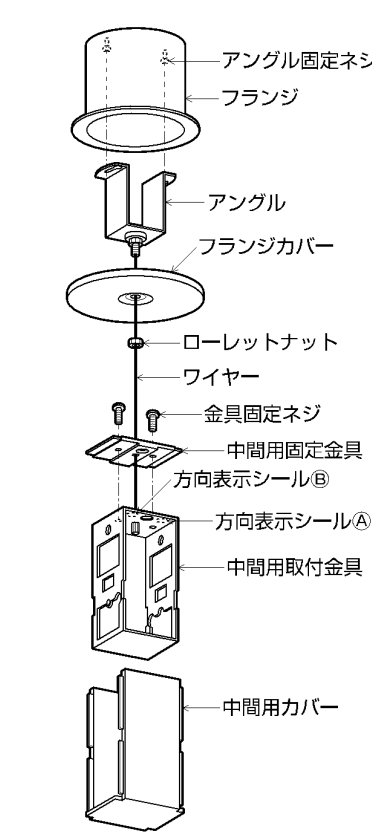
〈電源用吊具(別売)〉
XE48139E



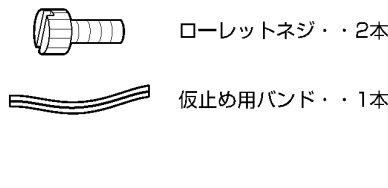
〈付属部品〉



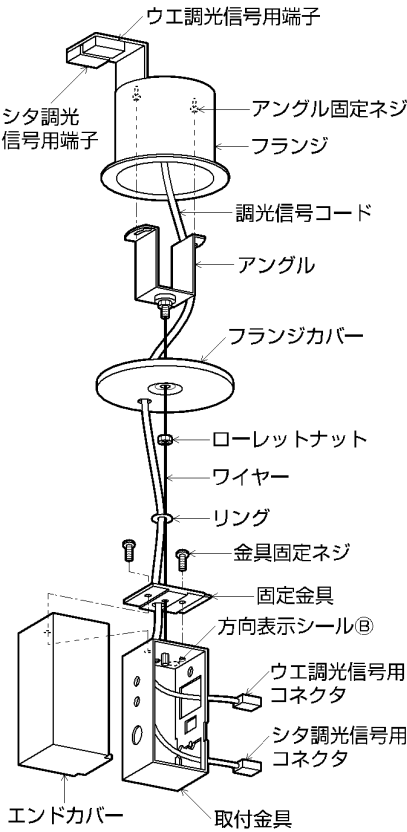
〈中間用吊具(別売)〉
XE48140E



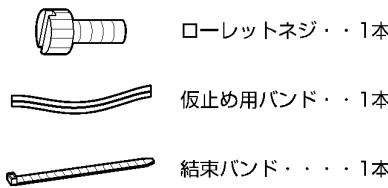
〈付属部品〉



〈調光信号用吊具(別売)〉
XE48141E



〈付属部品〉



1 電源線を接続する

■施工手順(単体の場合) 1 を参考に電源線を接続する。P.5

2 調光信号線を接続する

■施工手順(単体の場合) 2 を参考に調光信号線を接続する。P.5

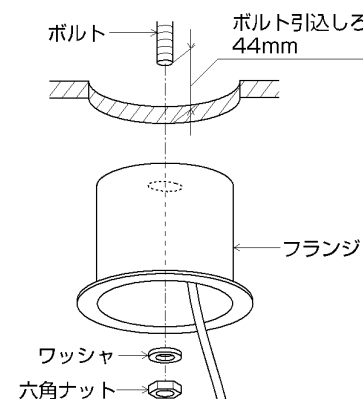
3 フランジを取付ける

＜電源用吊具・調光信号用吊具の場合＞

■施工手順(単体の場合) 3 を参考にフランジを取付ける。P.5

＜中間用吊具の場合＞

フランジをボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。



4 アングルを取付ける

■施工手順(単体の場合) 4 を参考に各吊具のアングルを取付ける。P.5

5 ワイヤーの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 5 を参考に各吊具のワイヤーの長さを調節する。P.6

6 電源コードの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 6 を参考に電源コードの長さを調節する。P.6

7 フランジカバーを取付ける

■施工手順(単体の場合) 7 を参考に各吊具のフランジカバーを取付ける。P.6

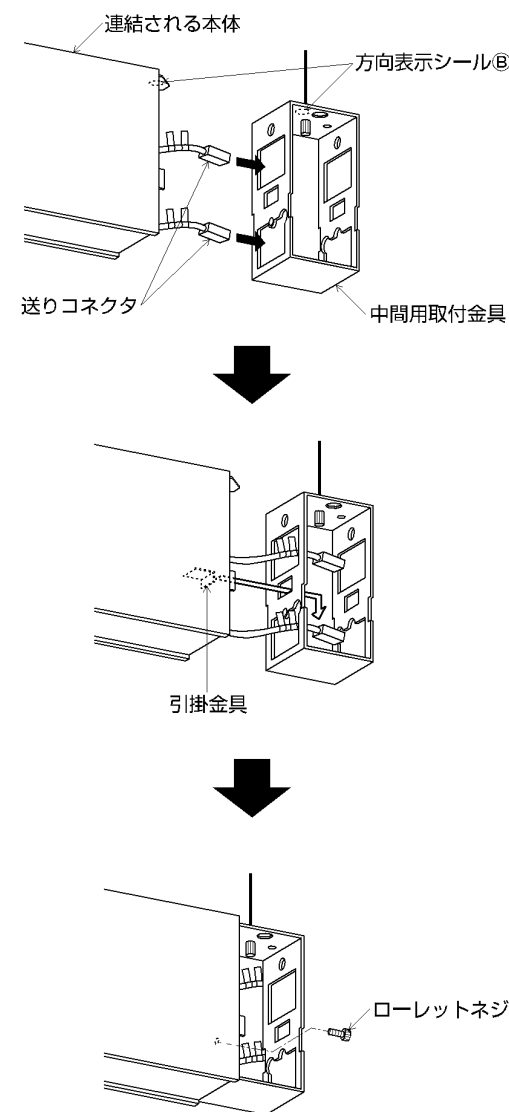
8 固定金具を仮吊りする

■施工手順(単体の場合) 8 を参考に各吊具の固定金具を仮吊りにする。P.6

9 連結される本体を取付ける

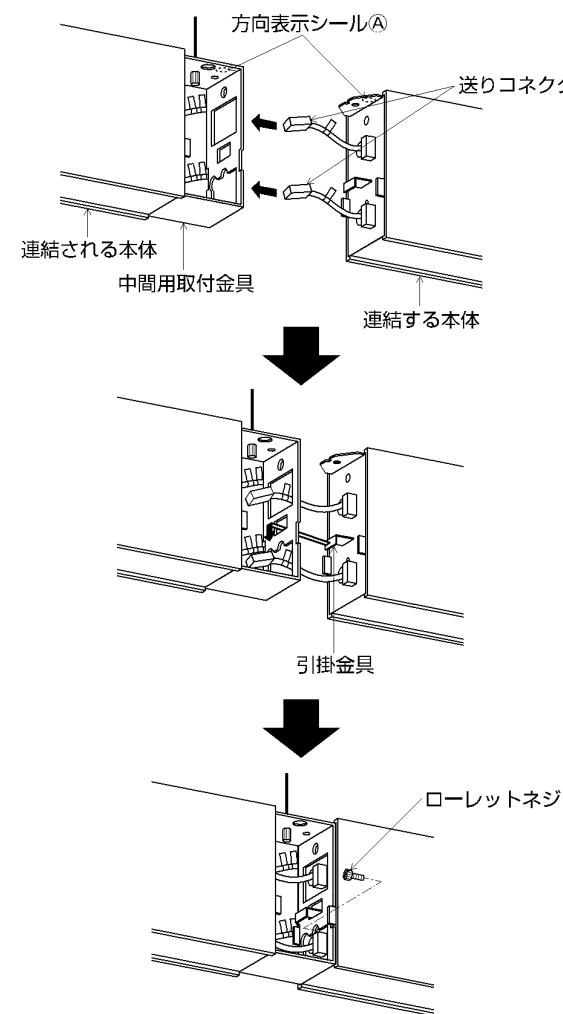
①■施工手順(単体の場合) 9 を参考に連結される本体の方向表示シール④側を電源用吊具の取付金具に取付ける。P.7

②連結される本体の方向表示シール④側の送りコネクタを中間用取付金具の方向表示シール④側に通してから、引掛金具を中間用取付金具に引っ掛け、中間用吊具に付属のローレットネジで取付ける。



10 連結する本体を取付ける

①連結する本体の方向表示シール④側を中間用取付金具に向け、連結する本体の送りコネクタを中間用取付金具に通してから、引掛金具を中間用取付金具に引っ掛け、中間用吊具に付属のローレットネジを本体に取付ける。



②■施工手順(単体の場合) 9 を参考に連結する本体の方向表示シール④側を調光信号用吊具の取付金具に取付ける。P.7

11 電源用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 10 を参考に電源用吊具の電源用コネクタを連結される本体の本体側電源用コネクタに接続する。P.7

12 送りコネクタを接続する

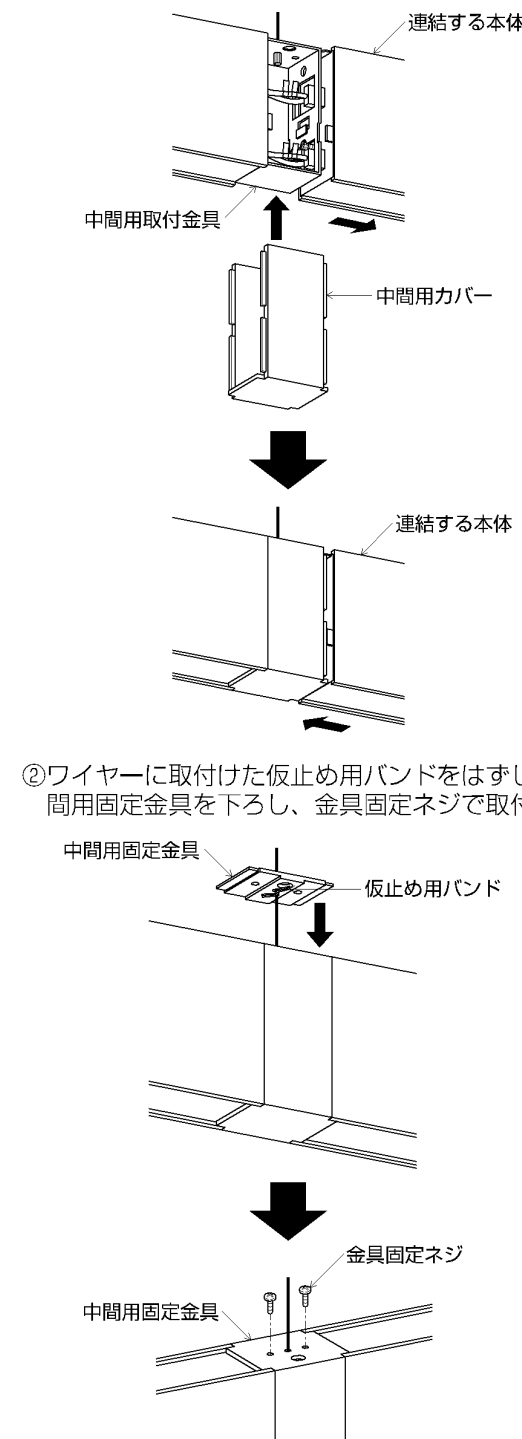
■施工手順(単体の場合) 10・11 を参考に中間用取付金具内の電源用送りコネクタを本体側電源用コネクタに接続し、調光信号用送りコネクタを本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

13 調光信号用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 11 を参考に調光信号用吊具の調光信号用コネクタを連結する本体の本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

14 中間用カバーを取付ける

①連結する本体を外側にスライドさせてから、中間用カバーを中間用取付金具に合わせ、連結する本体を内側にスライドさせて中間用カバーをはさみ込む。



15 エンドカバーを取付ける

■施工手順(単体の場合) 12 を参考にエンドカバーを取付ける。P.7

16 点灯の確認を行なう

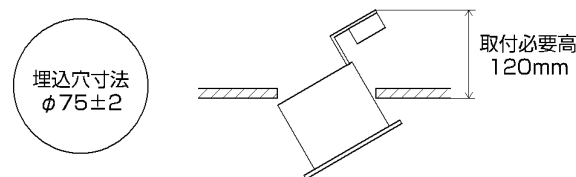
■施工前の確認(L字連結の場合)

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2天井に埋込穴をあける

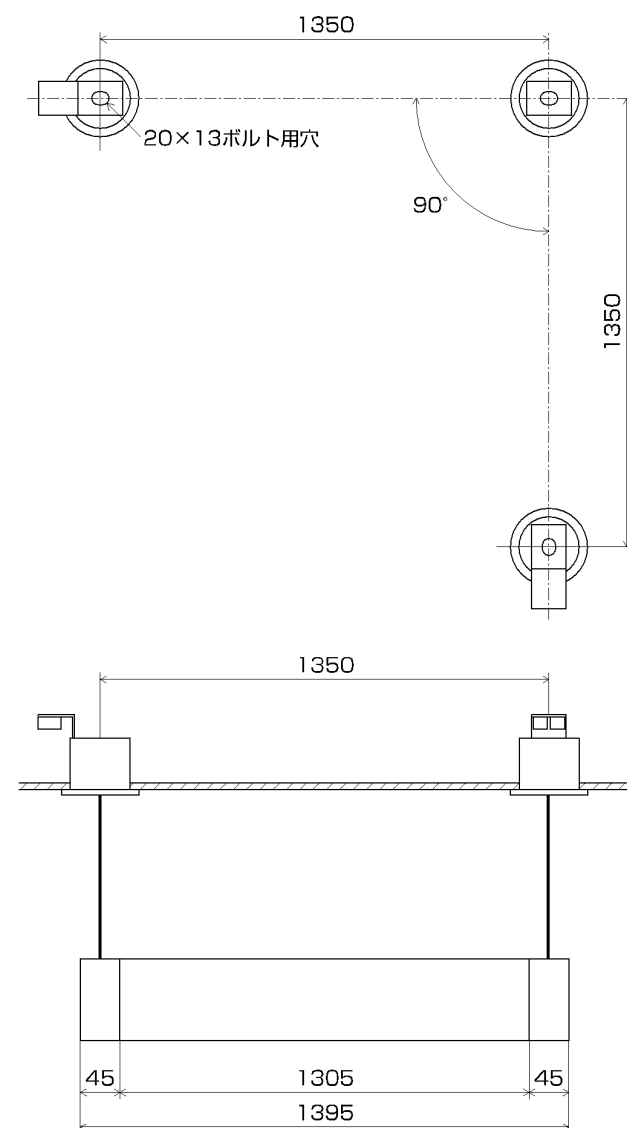
※連結台数+1ヶの埋込穴が必要です。



3取付ピッチ

下図は器具を取付面から見た図です。

＜L字連結2台の場合＞



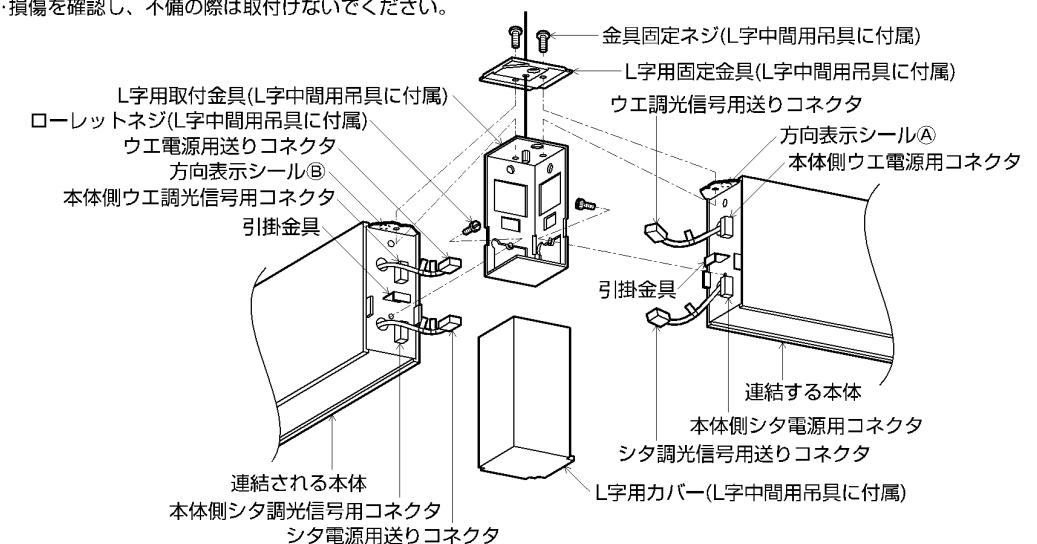
4 器具の取付けは2人で作業する

器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順(L字連結の場合) ⚠注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

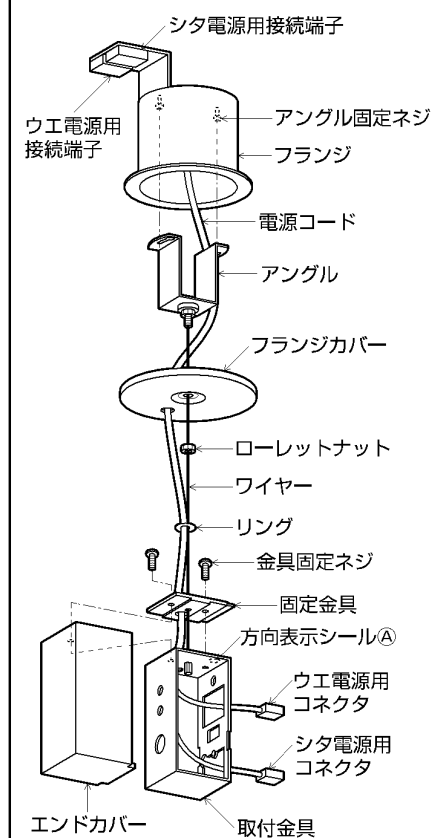
※この図は一部抽象化した共通部品図です。

※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

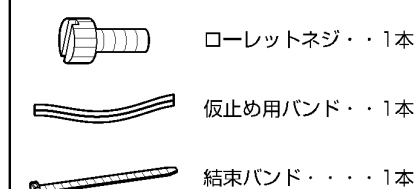


〈電源用吊具(別売)〉

XE48139E

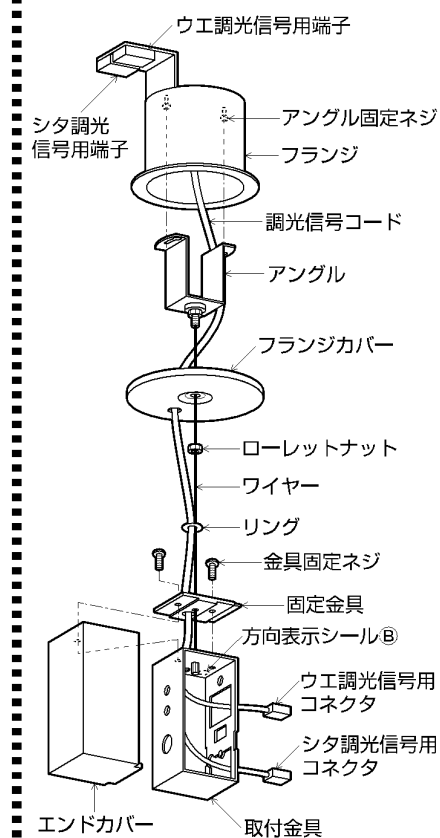


〈付属部品〉

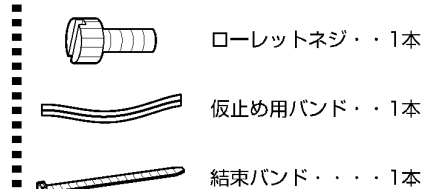


■〈調光信号用吊具(別売)〉

XE48141E

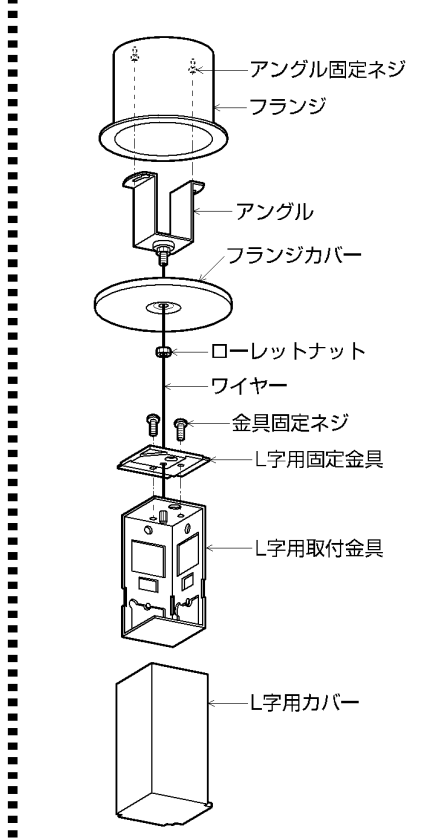


■〈付属部品〉

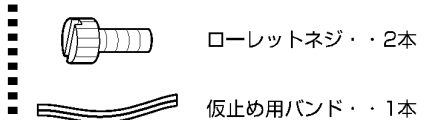


■〈L字中間用吊具(別売)〉

XE48142E



■〈付属部品〉



1 電源線を接続する

■施工手順(単体の場合) 1 を参考に電源線を接続する。P.5

2 調光信号線を接続する

■施工手順(単体の場合) 2 を参考に調光信号線を接続する。P.5

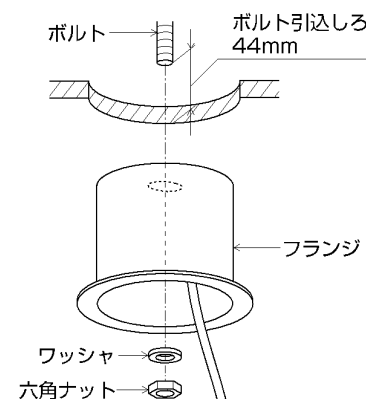
3 フランジを取付ける

＜電源用吊具・調光信号用吊具の場合＞

■施工手順(単体の場合) 3 を参考にフランジを取付ける。P.5

＜L字中間用吊具の場合＞

フランジをボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。



4 アングルを取付ける

■施工手順(単体の場合) 4 を参考に各吊具のアングルを取付ける。P.5

5 ワイヤーの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 5 を参考に各吊具のワイヤーの長さを調節する。P.6

6 電源コードの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 6 を参考に電源コードの長さを調節する。P.6

7 フランジカバーを取付ける

■施工手順(単体の場合) 7 を参考に各吊具のフランジカバーを取付ける。P.6

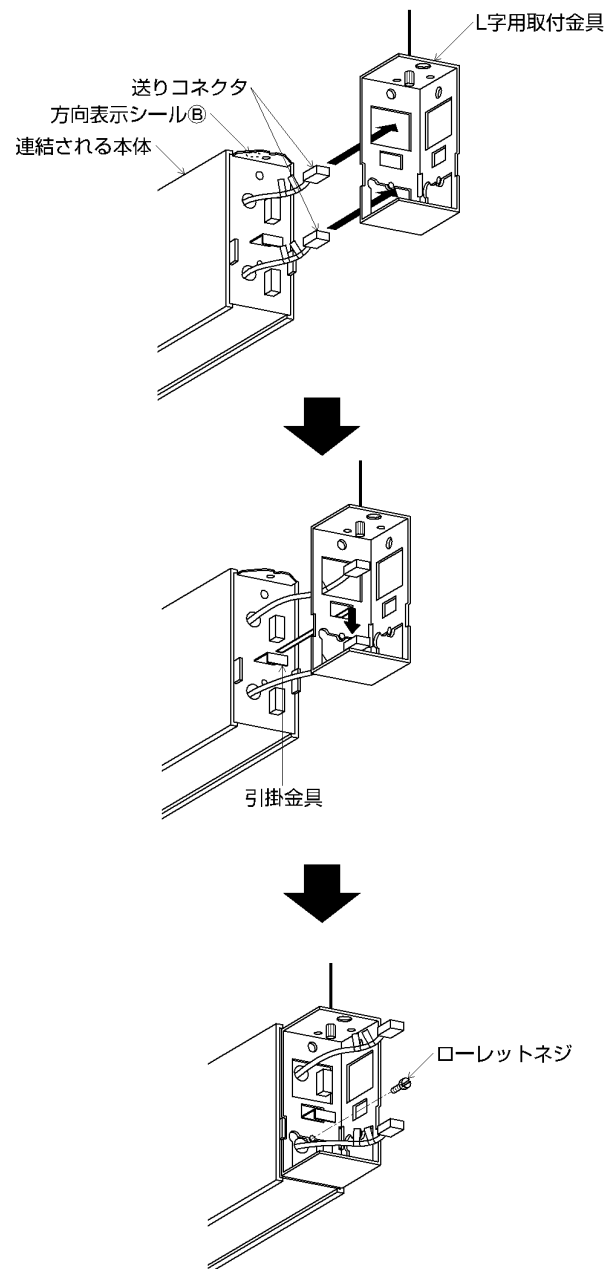
8 固定金具を仮吊りする

■施工手順(単体の場合) 8 を参考に各吊具の固定金具を仮吊りにする。P.6

9 連結される本体を取付ける

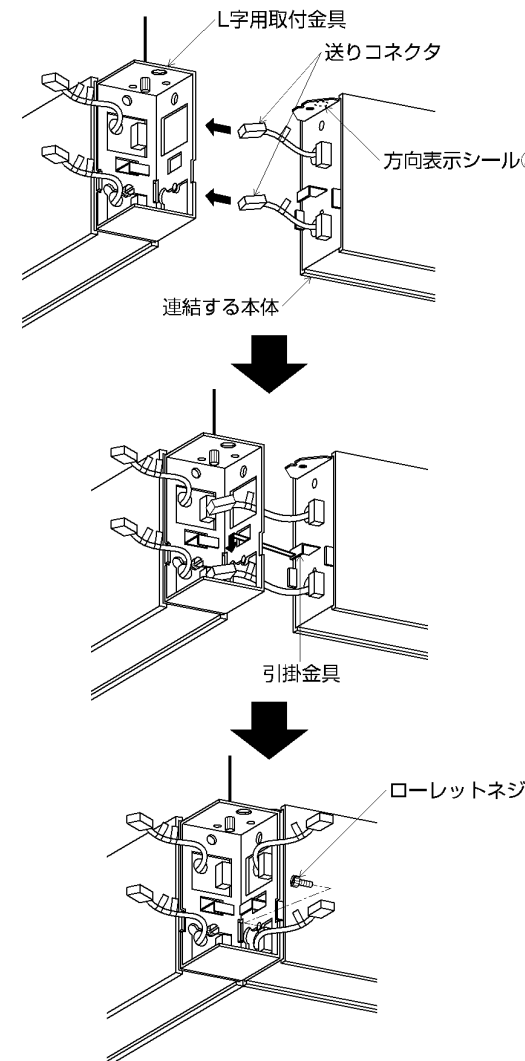
①■施工手順(単体の場合) 9 を参考に連結される本体の方向表示シール④側を電源用吊具の取付金具に取付ける。P.7

②連結される本体の方向表示シール④側の送りコネクタをL字用取付金具に通してから、引掛金具をL字用取付金具に引っ掛け、L字中間用吊具に付属のローレットネジで取付ける。



10 連結する本体を取付ける

①連結する本体の方向表示シール④側の送りコネクタをL字用取付金具に通してから、引掛金具をL字用取付金具に引っ掛け、L字中間用吊具に付属のローレットネジで取付ける。



②■施工手順(単体の場合) 9 を参考に連結する本体の方向表示シール④側を調光信号用吊具の取付金具に取付ける。P.7

11 電源用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 10 を参考に電源用吊具の電源用コネクタを連結される本体の本体側電源用コネクタに接続する。P.7

12 送りコネクタを接続する

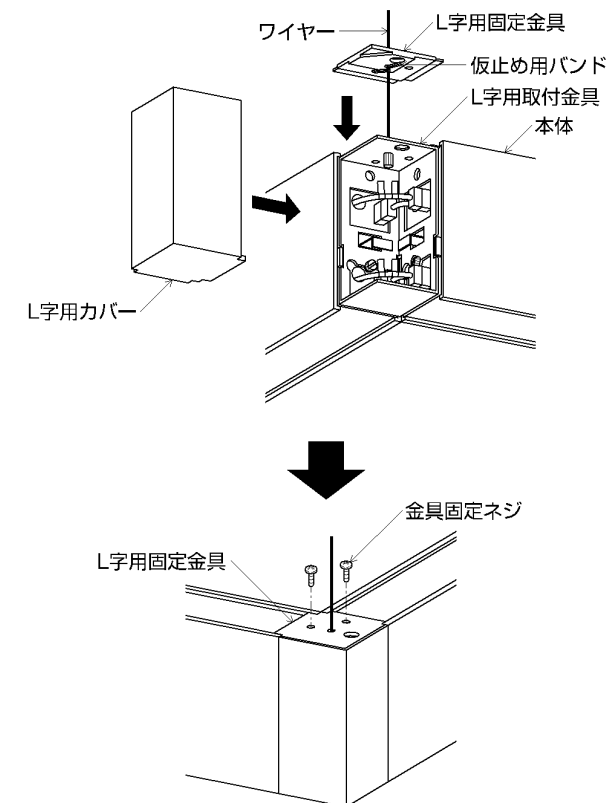
■施工手順(単体の場合) 10・11 を参考にL字用取付金具内の電源用送りコネクタを本体側電源用コネクタに接続し、調光信号用送りコネクタを本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

13 調光信号用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 11 を参考に調光信号用吊具の調光信号用コネクタを連結する本体の本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

14 L字用カバーを取付ける

L字用カバーをL字用取付金具に合わせ、ワイヤーに取付けた仮止め用バンドをはずしてL字用固定金具を下ろし、金具固定ネジで取付ける。



15 エンドカバーを取付ける

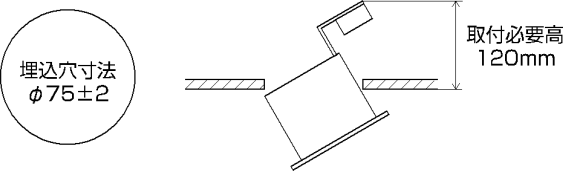
■施工手順(単体の場合) 12 を参考にエンドカバーを取付ける。P.7

16 点灯の確認を行なう

■施工前の確認(口字連結の場合)

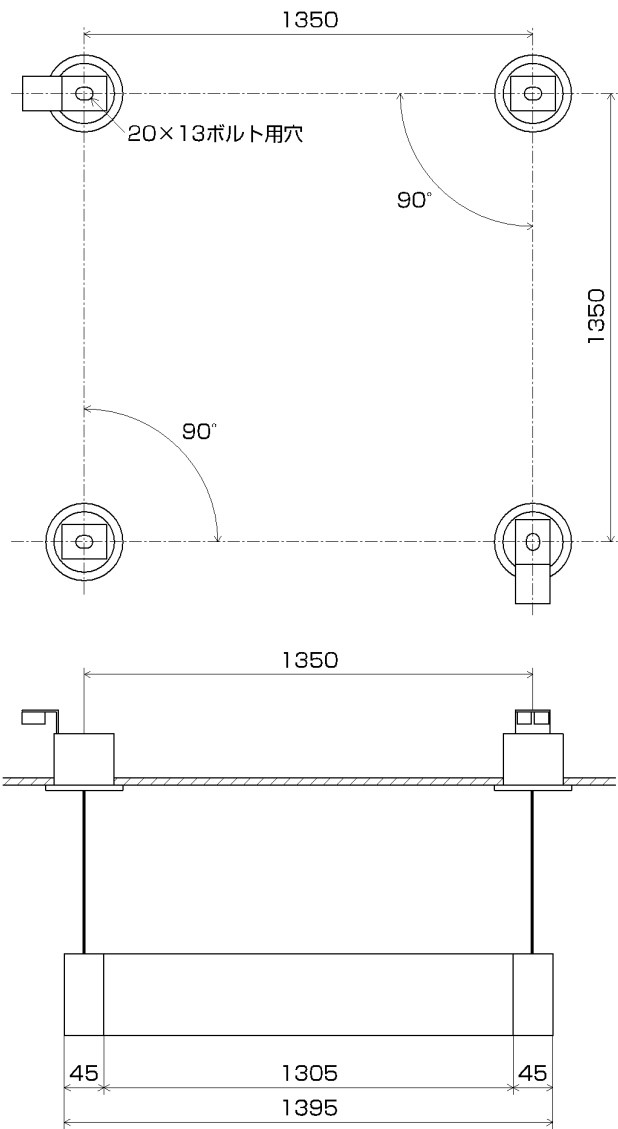
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 天井に埋込穴をあける
※連結台数分の埋込穴が必要です。



3 取付ピッチ
下図は器具を取付面から見た図です。
＜口字連結4台の場合＞

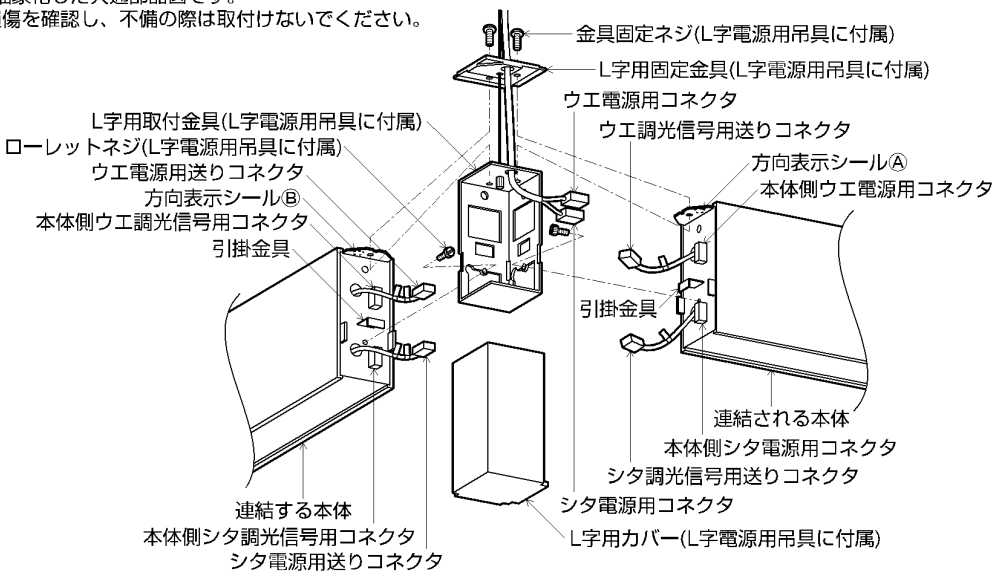
※L字中間用吊具(別売：XE48142E)は2台使用します。



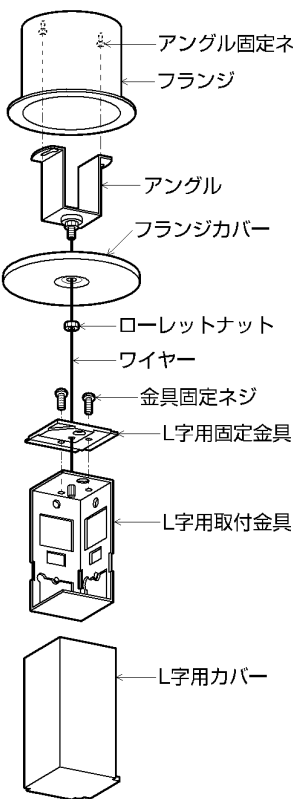
4 器具の取付けは2人で作業する
器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順(口字連結の場合) △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

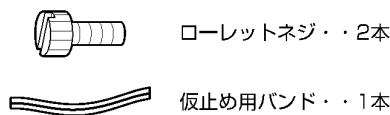
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



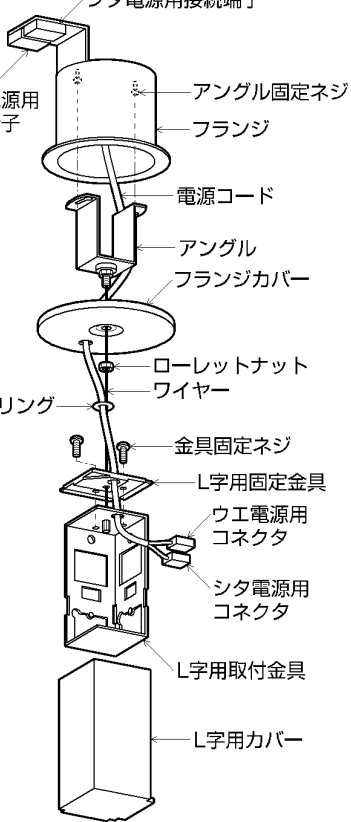
＜L字中間用吊具(別売)＞
XE48142E



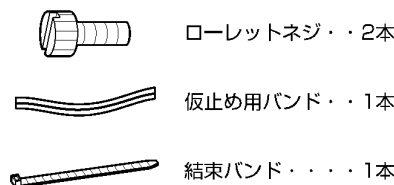
＜付属部品＞



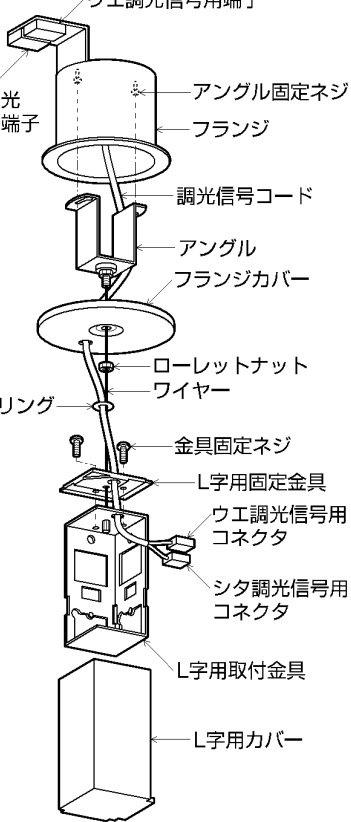
＜L字電源用吊具(別売)＞
XE48143E



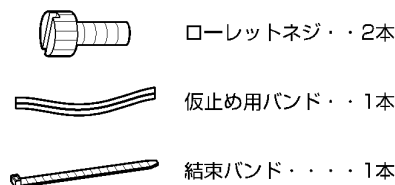
＜付属部品＞



＜L字調光信号用吊具(別売)＞
XE48144E



＜付属部品＞



1 電源線を接続する

■施工手順(単体の場合) 1 を参考に電源線を接続する。P.5

2 調光信号線を接続する

■施工手順(単体の場合) 2 を参考に調光信号線を接続する。P.5

3 フランジを取付ける

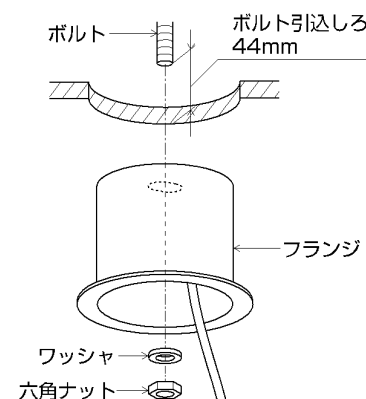
＜L字電源用吊具・L字調光信号用吊具の場合＞

■施工手順(単体の場合) 3 を参考にフランジを取付ける。P.5

＜L字中間用吊具の場合＞

フランジをボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

※L字中間用吊具は2台使用します。



4 アングルを取付ける

■施工手順(単体の場合) 4 を参考に各吊具のアングルを取付ける。P.5

5 ワイヤーの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 5 を参考に各吊具のワイヤーの長さを調節する。P.6

6 電源コードの長さを調節する

■施工手順(単体の場合) 6 を参考に電源コードの長さを調節する。P.6

7 フランジカバーを取付ける

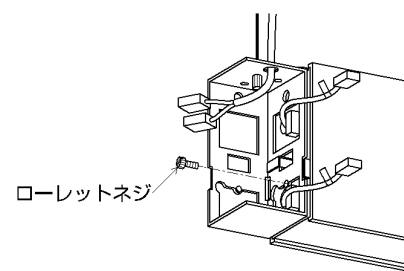
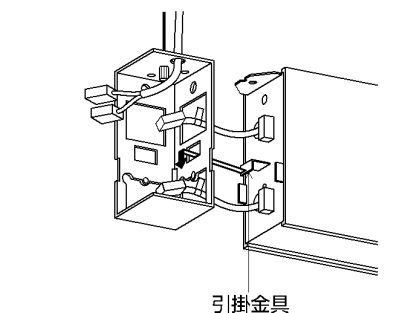
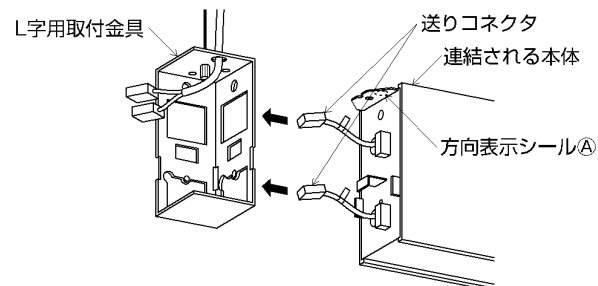
■施工手順(単体の場合) 7 を参考に各吊具のフランジカバーを取付ける。P.6

8 固定金具を仮吊りする

■施工手順(単体の場合) 8 を参考に各吊具の固定金具を仮吊りにする。P.6

9 連結される本体を取付ける

①連結される本体の方向表示シールA側の送りコネクタをL字電源用吊具のL字用取付金具に通してから、引掛金具をL字用取付金具に引っ掛け、L字電源用吊具に付属のローレットネジで取付ける。



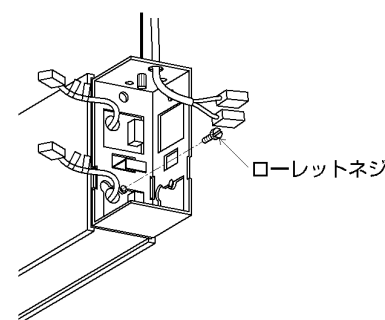
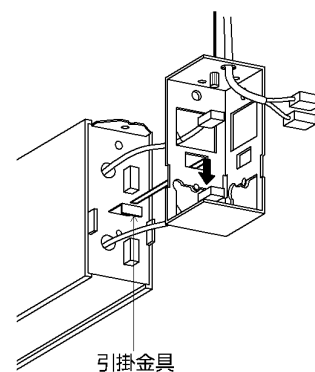
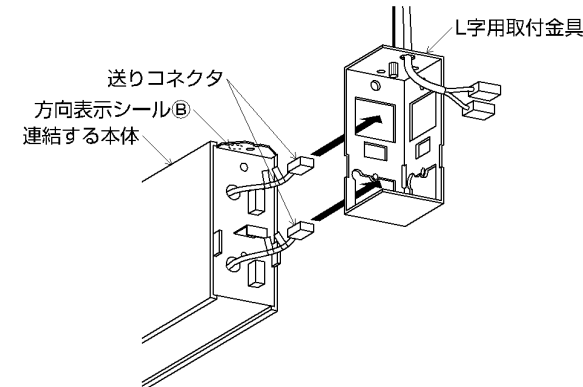
②■施工手順(L字連結の場合) 9 の②を参考に連結される本体の方向表示シールB側をL字中間用吊具のL字用取付金具に取付ける。P.14

10 連結する本体を取付ける

①■施工手順(L字連結の場合) 10 を参考に連結する本体の本体表示シールA側をL字中間用吊具のL字用取付金具に取付ける。P.15

②連結する本体の方向表示シールB側の送りコネクタをL字調光信号用吊具のL字用取付金具に通してから、引掛金具をL字用取付金具に引っ掛け、L字調光信号用吊具に付属のローレットネジで取付ける。

③残りの連結する本体も同様に取付ける。



11 電源用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 10・11 を参考にL字電源用吊具の電源用コネクタを連結される本体の本体側電源用コネクタに接続し、連結される本体の調光信号用送りコネクタを連結する本体の本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

12 送りコネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 10・11 を参考に各L字中間用吊具のL字用取付金具内の電源用送りコネクタを本体側電源用コネクタに接続し、調光信号用送りコネクタを本体側調光信号用コネクタに接続する。P.7

13 調光信号用コネクタを接続する

■施工手順(単体の場合) 10・11 を参考にL字調光信号用吊具の調光信号用コネクタを連結する本体の本体側調光信号用コネクタに接続し、連結する本体の電源用送りコネクタを他の連結する本体の本体側電源用コネクタに接続する。P.7

14 L字用カバーを取付ける

■施工手順(L字連結の場合) 14 を参考に各吊具のL字用カバーを取付ける。P.15

15 点灯の確認を行なう